

# 令和元年度定時総会資料

令和元年6月21日

東三河懇話会

令和元年6月21日（金）午後3時～6時  
於：ホテルアークリッシュ豊橋

## 東三河懇話会 令和元年度定時総会次第

午後3:00～3:35 **定時総会** 5階「ザ・グレイス」  
議案1. 平成30年度事業報告並びに収支決算報告の件  
議案2. 令和元年度事業計画（案）並びに収支予算（案）の件  
議案3. 役員変更の件

午後3:45～4:30 **記念講演** 5階「ザ・グレイス」  
講師：愛知県知事 大村秀章氏  
演題：「“Heart” of JAPANを目指して」

（移動）

午後4:45～6:00 **交流懇親パーティー** 4階「ザ・テラスルーム」

議案1. 平成30年度事業報告並びに収支決算報告の件

## 東三河懇話会

### 平成30年度事業報告

自 平成30年 4月 1日

至 平成31年 3月31日

平成30年度の我が国経済は、世界経済の緩やかな減速を背景に輸出の伸び悩みが続く中、国内需要に支えられる形で緩やかな回復が続いています。それに伴う雇用・所得環境の改善傾向の持続により、個人消費も緩やかに持ち直し、経済の好循環が回りつつありました。

一方で、人口減少は着実に進み、産業経済の持続的な発展のために必要な人材の不足感は一層深刻になりました。愛知県についてみると、人口は増加しているものの2年連続の自然減となりました。東三河地域では、10年ほど前から人口減少・高齢化の局面に入り、県内で唯一、人口減少が進み、社会増・自然増を促す移住・定住施策の充実が一層重要になってきています。昨今では、女性活躍や働き方改革等が求められていますが、高齢者も含め、働きやすい、子育てしやすいなどの環境づくりを、企業、学校、行政、地域社会の広域的な連携により進めていくことが、より重要になってくると予想されます。

こうした中、昭和43年10月に設立された弊会は、昨年、50周年の節目の年を迎えました。10月の記念式典には約200名の参加があり、盛大に開催することが出来ました。あわせて、設立50周年記念誌の作成を進めており、次年度には発刊の予定です。

例年開催している事業につきましては、新春恒例の東三河8市町村長を囲む新春懇談会において、『持続可能な開発目標』（SDGs）の達成に向けた取り組みをテーマに、東三河を展望して頂きました。産学官交流事業では、産学官交流サロンを年12回、午さん交流会を年10回、定期開催いたしました。午さん交流会では、地域の活性化に向けて活躍する若い世代に多くご登壇いただき、その活動を発表して頂きました。

6月の定時総会終了後の記念講演会では、東京大学大学院の小泉秀樹教授に東三河のまちづくりについて講演いただきました。その他、幹線道路計画説明会、三河港関連事業計画等説明会など、地域経済の持続的な発展に不可欠なインフラ整備に繋がる交流の機会および勉強の場を設けてきました。

時代は令和に移りましたが、新年度も会員の皆様のニーズを受け止め、新しい時代に即した東三河づくりを進めていくため、地域を繋ぎ、産学官交流の質の向上を目指してまいります。会員各位の積極的なご参加をお願い申し上げる次第です。

#### (1) 重点戦略事業

①東三河の産学官交流・広域連携のサポート、三遠南信地域連携ビジョンの推進

東三河産学官交流サロン、東三河午さん交流会等の事業を通じて、交流の場の提供と地域連携の推進を担う役割を果たしてきた。

②東三河広域経済連合会、東三河広域連合との連携

東三河地域研究センターと共同でシンクタンク機能を活用して、政策提言、ビジョン策定支援などで緊密な連携、協力を実施した。

**(2) 広域連携事業**

①国際自動車コンプレックス研究会

第21期目の研究活動を継続している。三河港振興会・自動車港湾委員会と連携をとりながら、自動車産業・港湾整備に関する企業活動・政策の最新動向について研究交流会や視察会などを開催した。(詳細後記)

②三遠南信サミット2018 in 東三河

平成30年10月に、豊橋市穂の国とよはし芸術劇場PLATで行われた第26回三遠南信サミットに参加し、三遠南信地域の連携・交流に協力した。

③三河港振興会、豊かな海“三河湾”環境再生推進協議会、伊勢湾再生海域検討会  
三河港湾関係諸団体の活動に参画、協力した。

**(3) 産学官民交流事業**

①東三河産学官交流サロン(12回/年)

12回開催した。地元各大学からの講師のほか、地域で活躍されている経済人などを講師としてお招きして、産学官民の交流連携、情報交換の場を提供した。(第402回～413回 詳細後記)

②東三河午さん交流会(10回/年)

10回開催した。地域に密着したさまざまな話題をピックアップして、東三河においての文化的、芸術的活動を実践・貢献されている方々を紹介した。(第181回～190回 詳細後記)

③東三河8市町村長を囲む新春懇談会

新春恒例の東三河の全市町村長によるパネルディスカッションを実施し、「持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けた取組み」をメインテーマとして、東三河のこれからの姿の展望についての活発な議論が行われた。(詳細は、会報MIKAWA—NAVI特別号に掲載)

**(4) 会員サービス事業**

①東三河懇話会設立50周年式典

平成30年10月に東三河懇話会設立50周年を記念して、記念式典、記念講演会、ならびに交流懇親会を開催した。(詳細後記)

②三河港関連事業整備計画・東三河地区幹線道路整備計画の説明会

平成30年6月に「三河港関連事業計画等説明会」を、また7月には「東三河地区幹線道路整備計画に関する説明会」を三河港振興会と共催した。(詳細後記)

③東三河地域問題セミナー

(公社)東三河地域研究センターの主催で4回、さらに平成31年3月に、地域関連研究発表会を開催、運営協力をした。(詳細後記)

④広報

会報誌MIKAWA-NAVI(季刊)の発行。新春特別版の発行。  
ホームページによる広報。URL：<http://www.konwakai.jp>

(5) 会員増強

○新入会

[法人会員] 6口

- ・(株)睦自動車
- ・丸八証券(株)
- ・ポッカサッポロフード&ビバレッジ(株)中日本自販機支社
- ・(株)サーラホテル&レストランズ
- ・(株)ラグナマリーナ
- ・愛知県信用保証協会

(敬称略)

## 運営の部

### 1. 定時総会・記念講演会

平成30年6月12日（火）午後3：00～6：00

於：ホテルアークリッシュ豊橋

#### ・議事

議案1. 平成29年度事業報告並びに収支決算報告の件

議案2. 平成30年度事業計画（案）並びに収支予算（案）の件

議案3. 役員改選の件

議案4. 設立50周年記念事業の件

・記念講演 東京大学大学院 工学系研究科都市工学専攻・教授 小泉秀樹氏

「少子高齢社会における東三河のまちづくりをPlacemakingから構想する」

（詳細後記）

### 2. 理事会

平成30年5月21日（月）午前11：00～12：00

於：ホテルアークリッシュ豊橋

### 3. 会員数及び口数の状況

(1) 入会	法人会員	6社	( 6口)
退会	法人会員	2社	( 2口)

(2) 平成31年3月31日現在会員数

法人会員	151社	(184口)
個人会員	2名	( 2口)
特別会員	12団体	( 29口)
推薦会員	2名	—

## 資料（事業の詳細）

### 1. 国際自動車コンプレックス研究会 活動状況

- (1) 第15回高等学校エコカーレース総合大会（H30.6.24 於：ユタカ自動車学校 特設コース）  
出走台数：エコハイA部門11台、エコハイB部門7台、オープンクラス部門26台  
来場者数：約900人
- (2) 第51回研究交流会（H30.7.24 於：豊橋市民センター（カリオンビル）6階多目的ホール）  
講師1：愛知県 産業労働部産業振興課課長補佐 福田充雄氏  
演題：「愛知県における自動運転推進に向けた取り組み」  
講師2：名古屋大学 未来社会創造機構 特任教授 二宮芳樹氏  
演題：「自動運転の社会インパクトと実現の課題」  
出席者：44名
- (3) 第52回研究交流会（H30.8.9 於：豊橋商工会議所5階508会議室）  
講師：日本大学 理工学部交通システム工学科 教授 轟 朝幸氏  
演題：「海と空を活かした地方創生－水上飛行機の可能性－」  
出席者：36名
- (4) 第53回研究交流会（H30.9.3 於：豊橋商工会議所5階508会議室）  
講師：デロイトトーマツコンサルティング合同会社  
シニアマネージャー 柴田信宏氏、マネージャー 西原雅勇氏  
シニアマネージャー 田岡佑一郎氏、コンサルタント 小林大輝氏  
演題：「モビリティ革命2030－自動車・物流産業が迎える大変化－」  
出席者：44名
- (5) 視察会（H30.9.27）  
三菱自動車工業(株)岡崎製作所・三河港蒲郡地区視察会  
訪問先：三河港9号岸壁、モータープール、三菱自動車工業(株)岡崎製作所  
参加者：23名
- (6) 第20期報告総会・記念講演会（H30.12.4 於：豊橋市民センター(カリオンビル)6階多目的ホール）  
・記念講演会  
講師：(株)フォーイン 取締役社長 久保鉄男氏  
演題：「世界・日本の自動車産業の動向と今後の展望」  
出席者：56名

### 2. 講演会、懇談会等

- (1) 総会・記念講演会（H30.6.12 於：ホテルアークリッシュ豊橋）  
講師：東京大学大学院 工学系研究科都市工学専攻・教授 小泉秀樹氏  
演題：「少子高齢社会における東三河のまちづくりをPlacemakingから構想する」

出席者：総会 106 名、講演会 134 名、懇親会 102 名

(2) 平成 30 年度 三河港関連事業計画等説明会 [三河港振興会と共催]

(H30.6.13 13:30～15:00 於：ライフポートとよはし 中ホール)

講師：国土交通省 中部地方整備局 三河港湾事務所 所長 平澤 興氏  
愛知県 三河港務所 所長 浅井仁司氏  
愛知県 三河港工事事務所 所長 狩谷伸一氏

参加者：90 名

(3) 平成 30 年度 東三河地区幹線道路整備計画に関する説明会 [三河港振興会と共催]

(H30.7.9 14:00～15:30 於：ライフポートとよはし 中ホール)

講師：国土交通省 中部地方整備局 名四国道事務所 所長 牛居恒太氏  
国土交通省 中部地方整備局 浜松河川国道事務所 副所長 平井親一氏  
愛知県 東三河建設事務所 所長 川上晃一郎氏  
愛知県 新城設楽建設事務所 所長 丹羽康博氏

参加者：127 名

(4) 東三河懇話会設立 50 周年式典・記念講演会

(H30.10.24 16:00～19:00 於：ホテルアークリッシュ豊橋)

演題：「歴史的転換期に日本力再生の途を探る  
ーグローバルイズムの再生とイノベーションへの挑戦ー」

講師：(一財)地球産業文化研究所 顧問/東洋大学 理事長 福川伸次氏

参加者：196 名

(5) (公社)東三河地域研究センター 総会記念講演会

・通常総会 (H30.11.26 13:15～16:00 於：ホテルアークリッシュ豊橋)

演題：「長寿社会のまちづくり」

講師：東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授 秋山弘子氏

参加者：85 名

(6) 三遠地区地域懇談会 [中部経済同友会、浜松経済同友会と共催]

(H31.2.5 16:00～19:00 於：ホテルアークリッシュ豊橋)

演題：「三重県の地方創生への取り組み」

講師：三重県知事 鈴木英敬氏

参加者：60 名

3. 東三河産学官交流サロン (公社)東三河地域研究センターと共催

(年 1 2 回、毎月第 3 水曜日を原則 18:00～20:30 於：ホテルアークリッシュ豊橋)

第 402 回 4.17(火) 参加者 78 名

・豊橋創造大学 経営学部経営学科 准教授 三輪多恵子氏

「地域企業連携プロジェクトの取り組み ～のんほいパーク盛り上げ隊!の活動を通して～」



- ・国土交通省 中部地方整備局 三河港湾事務所長 平澤 興氏  
「東三河の経済を支える三河港」

第 403 回 5.15(火) 参加者 118 名

- ・豊橋技術科学大学 情報・知能工学系 講師 大村 廉氏  
「シビックテックによる街のスマート化 ～豊橋市の活動について～」
- ・新城市長 穂積亮次氏  
「地方創生戦略の一断面 ～世代のリレーができるまち～」

第 404 回 6.27(水) 参加者 81 名

- ・愛知大学 文学部心理学科 准教授 関 義正氏  
「動物の行動から考えるヒトの音声活用の特異性」
- ・参議院議員 太田房江氏  
「女性活躍、人口問題 等について」

第 405 回 7.18(水) 参加者 99 名

- ・愛知工科大学 工学部情報メディア学科 教授 田川和義氏  
「VR と IoT の医療応用:いつでもどこでも訓練が可能な手術訓練システムの開発」
- ・さわらびグループ CEO/DEO 山本左近氏  
「超幸齢社会をデザインする」

第 406 回 8.22 (水) 参加者 96 名

- ・豊橋技術科学大学 先端農業・バイオリサーチセンター 特任准教授 山内高弘氏  
「愛知県東三河地域の農業における IoT の活用事例と課題」
- ・(株)総合開発機構 代表取締役社長 小林宏之氏  
「地域の開発と総合開発機構～50年の歩み～」

第 407 回 9.19 (水) 参加者 83 名

- ・愛知大学 経営学部経営学科 教授 田中英式氏  
「地域産業集積の優位性～岡山ジーンズ産業集積のケース」
- ・(株)くればあ 取締役社長 中河原 毅氏  
「豊橋の繊維産業を復活させ、世界を代表するブランドマスクへ」

第 408 回 10.17 (水) 参加者 78 名

- ・豊橋技術科学大学 環境・生命工学系 教授 岩佐精二氏  
「豊橋から発信する食の安全・安心技術ー残留農薬検査キットの開発ー」
- ・鳥居食品(株) 代表取締役 鳥居大資氏  
「イギリス生まれの木桶熟成ウスターソース」

第 409 回 11.21 (水) 参加者 77 名

- ・愛知工科大学 工学部電子制御・ロボット工学科 教授 西尾正則氏  
「キューブサットで挑む宇宙開発～町工場とともに宇宙へ～」
- ・国土交通省中部地方整備局 豊橋河川事務所長 澤頭芳博氏

「東三河の安全・安心と発展を支える～豊川直轄改修80周年を迎えて～」

第410回 12.18(火) 参加者73名

- ・愛知大学 現代中国学部 教授 高橋五郎氏  
「日中産官学共同研究8年の体験を通じて～(株)デンソーと共有しえたもの～」
- ・(株)田村組 代表取締役社長 (ニューキャッスル会議実行委員会委員長) 田村太一氏  
「ニューキャッスル・アライアンスの可能性～観光・教育・ビジネスの視点から～」

第411回 1.23(水) 参加者86名

- ・豊橋技術科学大学 電気・電子情報工学系 教授 櫻井庸司氏  
「低炭素社会に貢献する電池技術」
- ・(一社)日本施設園芸協会 会長／(株)大仙 代表取締役会長 鈴木秀典氏  
「日本の施設園芸の動向」

第412回 2.20(水) 参加者86名

- ・愛知大学 地域政策学部 准教授 飯塚隆藤氏  
「東海地域での歴史GIS教育」
- ・衆議院議員 根本幸典氏  
「東三河の未来」

第413回 3.20(水) 参加者68名

- ・豊橋技術科学大学 機械工学系 教授 伊崎昌伸氏  
「水を活用したものづくり～半導体からエネルギーまで～」
- ・衆議院議員 せき健一郎氏  
「東三河の相対的な魅力って？～永住を決めたよそ者の視点から～」

**4. 東三河午さん交流会** (公社)東三河地域研究センターと共催  
(年10回、5、1月を除く毎月第1金曜日を原則 11:30～13:00)

第181回 4.06(金) 参加者37名

- ・山の搾油所 代表 杉浦 篤氏  
「山里の豊かな資源」

第182回 6.01(金) 参加者45名

- ・中日新聞 豊橋総局 総局次長 中村禎一郎氏  
「中東ってどんな場所？何が起きているの？」

第183回 7.04(水) 参加者49名

- ・フリーライター 大宮冬洋氏、(株)サンヨネ 代表取締役社長 三浦和雄氏  
「蒲郡在住ライターが聞く！サンヨネの秘密」

第184回 8.03(金) 参加者37名

- ・豊川市教育委員会 教育部次長兼生涯学習課長 前田清彦氏  
「豊川海軍工廠平和公園の開園と今後の展望」

第185回 9.07（金） 参加者 37名

- ・渥美半島☆自然感察ガイド 代表 藤江昌代氏  
「元 屋久島ネイチャーガイドが見つけた“田原の屋久島”」

第186回 10.05（金） 参加者 34名

- ・豊橋市文化財センター 学芸専門員 岩原 剛氏  
「吉田城と三河の城」

第187回 11.02（金） 参加者 37名

- ・(有)志多ら 代表取締役 西谷まゆみ氏  
「志多らの30年とこれから」

第188回 12.07（金） 参加者 36名

- ・ディスプレイブルリーフ 代表 菅沼卓徒氏  
「スポーツを通じたまちづくり」

第189回 2.01（金） 参加者 41名

- ・ハリウッド化粧品グループ 代表取締役社長 牛山大輔氏  
「～社会と共に、持続的に成長する～ ビジネスと社会貢献を繋ぐ企業価値の発信」

第190回 3.01（金） 参加者 39名

- ・吉田城復元築城をめざす会 佐々木 豊氏  
「吉田城址の保全活用と東三河地域の観光等活性化への道」

## 5. 平成31年 東三河8市町村長を囲む新春懇談会

(H31.1.10 於：ホテルアークリッシュ豊橋)

テーマ：「持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けた取組み」

内容：東三河8市町村長によるパネルディスカッション

パネリスト

豊橋市長	佐原光一氏
豊川市長	山脇 実氏
蒲郡市長	稲葉正吉氏
新城市長	穂積亮次氏
田原市長	山下政良氏
設楽町長	横山光明氏
東栄町長	村上孝治氏
豊根村長	伊藤 実氏

コーディネーター

豊橋技術科学大学 学長	大西 隆氏
-------------	-------

参加者：273名

## 6. 東三河地域問題セミナー (主催：(公社)東三河地域研究センター)

(1) 第2回公開講座(H30.4.10 於：豊橋市民センター(カリオンビル)6階 多目的ホール)

講演：「人口減少時代のまちづくり手法 ～高松丸亀町商店街を事例に～」

講師：高松丸亀町商店街振興組合 理事長 古川康造氏

(内閣官房 地域活性化伝道師)

参加者：36名

(2) 特別セミナー(H30.7.27 於：豊橋サイエンスコア1階 視聴覚室)

講演：「目的地型『道の駅掛川』の取り組み」

講師：(株)道の駅掛川 代表取締役 河本 功氏

参加者：63名

(3) 第3回公開講座(H30.7.31 於：豊橋市民センター(カリオンビル)6階 多目的ホール)

演題1：「『地域で共に暮らす』を考える ～障害者福祉の視点から～」

講師：社会福祉法人岩崎学園 理事長 松下直弘氏

演題2：「障害者と共に働く職場づくり ～『鉄』の会社が『カレーライス』を作りはじめた理由(わけ)」

講師：(株)るるまる 取締役 柴田圭吾氏 (アットカレー代表/元豊橋市障害福祉課・生活福祉課職員)

参加者：45名

(4) 第4回公開講座(H30.9.5)

浜松市西遠浄化センター・はままつフラワーパーク視察会

視察1：浜松市西遠浄化センター(浜松市南区松島町)

視察2：はままつフラワーパーク(浜松市西区舘山寺町)

講演：「感動をお渡しするために」

講師：(公財)浜松市花みどり振興財団 理事長 塚本こなみ氏

## 7. 東三河地域関連研究発表会 (主催：(公社)東三河地域研究センター)

(1) 第25回地域関連研究発表会(H31.3.12 於：豊橋商工会議所)

参加者：33名

## 8. 各種団体、調査委員会等への参加、協力

(1) (一社)中部経済連合会

(2) (公財)中部圏社会経済研究所

(3) (一財)東海産業技術振興財団

(4) (一社)奥三河ビジョンフォーラム

(5) 愛知県港湾協会

(6) 三河港振興会

(7) 豊かな海“三河湾”環境再生推進協議会

(8) 伊勢湾再生海域検討会

- (9) 東三河生態系ネットワーク協議会
- (10) (NPO) 穂の国森づくりの会
- (11) (NPO) 朝倉川育水フォーラム
- (12) 東三河流域フォーラム
- (13) 一般国道151号改良促進期成同盟会
- (14) 豊橋みなとフェスティバル実行委員会
- (15) (一社) 豊橋観光コンベンション協会
- (16) (公財) 豊橋市国際交流協会
- (17) (公財) 豊橋文化振興財団
- (18) 豊橋日独協会
- (19) とよはし市電を愛する会
- (20) 豊橋市民愛市憲章推進協議会
- (21) 530運動環境協議会
- (22) 愛知県地球温暖化防止活動推進センター

平成30年度  
収 支 決 算 書  
(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

収入決算額	34,251,798円
支出決算額	32,332,774円
差引残高	1,919,024円

《 収 入 の 部 》

(単位：円)

科 目	予算額(1)	決算額(2)	差異(2)-(1)	予算比	備 考
<b>1. 会費収入</b>	24,222,000	24,462,000	240,000	101.0%	
1) 法人会費	21,720,000	21,960,000	240,000	101.1%	
2) 個人会費	240,000	240,000	0	100.0%	
3) 特別会費	2,262,000	2,262,000	0	100.0%	
<b>2. 事業収入</b>	6,620,000	6,035,565	△ 584,435	91.2%	
1) 産学官交流サロン	4,280,000	3,831,031	△ 448,969	89.5%	
2) 午さん交流会	1,340,000	1,244,534	△ 95,466	92.9%	
3) 新春懇談会	900,000	960,000	60,000	106.7%	
4) その他の事業	100,000	0	△ 100,000	0.0%	
<b>3. その他の収入</b>	1,901,000	1,880,519	△ 20,481	98.9%	
1) 特定預金取崩収入	0	0	0	0.0%	
① 減価償却引当特定預金	0	0	0	0.0%	
2) 雑収入	1,901,000	1,880,519	△ 20,481	98.9%	
① 受取利息	1,000	519	△ 481	51.9%	
② 雑収入	1,900,000	1,880,000	△ 20,000	98.9%	
<b>当期収入合計</b>	32,743,000	32,378,084	△ 364,916	98.9%	(A)
<b>前期繰越収支差額</b>	1,873,714	1,873,714	0	100.0%	
<b>収入合計</b>	34,616,714	34,251,798	△ 364,916	98.9%	(B)

《 支 出 の 部 》

(単位：円)

科 目	予算額(1)	決算額(2)	差異(2)-(1)	予算比	備 考
<b>1. 運営事業費</b>	2,000,000	2,079,213	79,213	104.0%	
1) 総会・理事会費	750,000	833,195	83,195	111.1%	
2) 広報費	1,150,000	1,141,589	△ 8,411	99.3%	会報誌発行・郵送等
3) 講演・説明会費	100,000	104,429	4,429	104.4%	
<b>2. 事業費</b>	6,380,000	6,134,709	△ 245,291	96.2%	
1) 産学官交流サロン	4,080,000	3,919,248	△ 160,752	96.1%	
2) 午さん交流会	1,300,000	1,233,692	△ 66,308	94.9%	
3) 新春懇談会	900,000	981,769	81,769	109.1%	
4) その他の事業	100,000	0	△ 100,000	0.0%	
<b>3. 調査・研究費</b>	11,554,000	11,621,579	67,579	100.6%	
1) 調査・研究費	8,074,000	8,154,000	80,000	101.0%	研究センター分(会費の1/3)
2) 研究・活動費	3,480,000	3,467,579	△ 12,421	99.6%	
<b>4. 管理費</b>	12,626,000	12,341,008	△ 284,992	97.7%	
1) 給料手当	5,710,000	5,719,165	9,165	100.2%	
2) 福利厚生費	1,145,000	1,092,471	△ 52,529	95.4%	
① 福利厚生費	230,000	169,249	△ 60,751	73.6%	
② 法定福利費	915,000	923,222	8,222	100.9%	
3) 会議費	20,000	6,480	△ 13,520	32.4%	
4) 旅費交通費	216,000	133,120	△ 82,880	61.6%	
5) 通信運搬費	566,000	579,724	13,724	102.4%	通信機器リース料含む
6) 消耗品費	900,000	871,747	△ 28,253	96.9%	
① 消耗什器備品費	0	0	0	0.0%	
② 消耗品費	900,000	871,747	△ 28,253	96.9%	OA機器リース料含む
7) 修繕費	0	0	0	0.0%	
8) 印刷製本費	150,000	114,858	△ 35,142	76.6%	総会資料・会員名簿等
9) 新聞・図書費	241,000	241,013	13	100.0%	
10) 水道光熱費	300,000	277,544	△ 22,456	92.5%	
11) 賃借料	2,904,000	2,903,040	△ 960	100.0%	事務所賃借料
12) 交際費	60,000	11,576	△ 48,424	19.3%	
13) 諸会費	354,000	354,000	0	100.0%	他団体の年会費等
14) 雑費	60,000	36,270	△ 23,730	60.5%	
<b>5. その他の支出</b>	156,265	156,265	0	100.0%	
1) 固定資産購入支出	0	0	0	0.0%	
2) 特定預金繰入支出	156,265	156,265	0	100.0%	
① 減価償却引当特定預金	56,265	56,265	0	100.0%	
② 事務所移転費用積立預金	100,000	100,000	0	100.0%	
<b>当期支出合計</b>	32,716,265	32,332,774	△ 383,491	98.8%	(C)
<b>当期収支差額</b>	26,735	45,310	18,575		(A)-(C)
<b>次期繰越収支差額</b>	1,900,449	1,919,024	18,575		(B)-(C)

## 貸借対照表

平成31年3月31日 現在

(単位：円)

科 目	金 額	
<b>I. 資産の部</b>		
1. 流動資産		
(1)現金	22,679	
(2)預金	4,271,923	
(3)未収入金	58,364	
(4)前払金	241,920	
流動資産合計		4,594,886
2. 固定資産		
(1)基本財産		
①定期預金	2,000,000	
基本財産合計	2,000,000	
(2)その他固定資産		
①設備什器備品	351,661	
②電話加入権	213,000	
③敷金	2,688,000	
④減価償却引当特定預金	2,470,544	
⑤事務所移転費用積立預金	200,000	
その他固定資産合計	5,923,205	
固定資産合計		7,923,205
<b>資産合計</b>		<b>12,518,091</b>
<b>II. 負債の部</b>		
1. 流動負債		
(1)未払金	884,435	
(2)預り金	641,816	
流動負債合計		1,526,251
<b>負債合計</b>		<b>1,526,251</b>
<b>III. 正味財産の部</b>		
<b>正味財産</b>		
(うち基本金)		10,991,840
(うち当期正味財産減少額)		(2,000,000)
		(1,372,549)
<b>負債及び正味財産合計</b>		<b>12,518,091</b>



## 正味財産増減計算書

平成 30年 4月 1日から平成 31年 3月 31日まで

(単位：円)

科 目	金 額	
<b>I. 増加の部</b>		
1. 資産増加額		
当期収支差額	45,310	
減価償却引当預金増加額	56,265	
事務所移転費用積立預金増加額	100,000	
資産増加額計		201,575
2. 負債減少額		
負債減少額	0	0
<b>増加額合計</b>		<b>201,575</b>
<b>II. 減少の部</b>		
1. 資産減少額		
什器備品減価償却額	56,265	
設立50周年関連費用減少額	1,517,859	
資産減少額計		1,574,124
2. 負債増加額		
負債増加額	0	0
<b>減少額合計</b>		<b>1,574,124</b>
<b>当期正味財産減少額</b>		<b>1,372,549</b>
<b>前期繰越正味財産額</b>		<b>12,364,389</b>
<b>期末正味財産合計額</b>		<b>10,991,840</b>

<参 考>

## 国際自動車コンプレックス研究会 第20期収支決算書

(自 平成29年10月1日 至 平成30年9月30日)

収入の部 (単位:円)

科目	予算額(a)	決算額(b)	差異(b-a)	対予算比率(b/a)	備考
会費収入	1,320,000	1,320,000	0	100%	
研究交流会収入	0	0	0	0%	
事業収入	100,000	0	-100,000	0%	
雑収入	72	5	-67	7%	
当期収入合計	1,420,072	1,320,005	-100,067	93%	
前期繰越収支差額	162,028	162,028	0	100%	
収入合計	1,582,100	1,482,033	-100,067	94%	

支出の部 (単位:円)

科目	予算額(a)	決算額(b)	差異(b-a)	対予算比率(b/a)	備考
総会費	150,000	43,954	-106,046	29%	
研究交流会費	250,000	232,301	-17,699	93%	
事業費	350,000	347,541	-2,459	99%	
運営費	800,000	800,000	0	100%	
予備費	32,100	0	-32,100	0%	
当期支出合計	1,582,100	1,423,796	-158,304	90%	
次期繰越収支差額	0	58,237	58,237	0%	

## 監査報告書

東三河懇話会  
会長 吉川一弘殿

東三河懇話会の、平成30年度（平成30年4月1日から平成31年3月31日まで）収支決算書、正味財産増減計算書、貸借対照表およびその他の計算書類、関係帳簿を監査した結果、いずれも適法かつ正確であることを認めます。

令和元年5月10日

東三河懇話会

監事 豊橋信用金庫 専務理事

市川 智 副



監事 ㈱三菱UFJ銀行 豊橋支店長

魚谷 哲



監事 中部電力㈱ 豊橋営業所長

牧 眞 司



議 案 2. 令和元年度事業計画(案)並びに収支予算(案)の件

## 東三河懇話会

### 令和元年度事業計画 (案)

自 平成31年 4月 1日

至 令和 2年 3月31日

#### 1. 基本方針

我が国の人口は、2008年の12,808万人をピークに減少局面に入り、2060年には8,674万人になると国立社会保障・人口問題研究所は推計しています。こうした全国的な傾向以前に、中山間地などでは昭和の時代から人口減少は進んできており、今後はこれまで人口が増えていた都市部を中心に急速に進んでいくことが推測されます。

東三河地域では、既に豊川市を除く7市町村は人口が減少しており、特に都市部では拡大から縮小型のコンパクトシティを目指すインフラ投資が求められ、また行政区域を跨いだ産業経済、生活機能の広域的な相互利活用環境の整備が一層必要になると思われま

す。こうした地域課題は、戦後一貫して成長してきた我が国が経験していない未知の領域であり、他地域の先行事例が必ずしも東三河地域に適用できるとは限りません。この様に困難な課題解決で重要なことは、単一行政エリアで物事を考えるのではなく、広域的な視点から解決策に近づいていくことが重要になると考えます。

一方で弊会は、“豊川流域圏の形成～東三河は一つ～”を活動理念とし、産学官民の交流事業、広域連携事業を進めてまいりました。そこには、自治体、経済界、大学、市民団体等、広範な地域づくりの意識を持った組織などが参加し、多様な意見交換の機会を提供してきています。

今年度も、継続事業として「東三河産学官交流サロン」、「東三河午さん交流会」を開催し、多様な意見が交換できる機会や、地域の連携・産学官民の交流を図るとともに、タイムリーな情報発信に努めます。また、年初に予定する「新春懇談会」は第50回の開催となります。東三河8市町村長による新年の抱負の他、地域の未来を見据えた共通テーマを定めて討議いただき、官民の相互理解を一層深める機会としてまいります。

昨年10月、弊会は設立50周年を迎え、記念式典を開催いたしました。そして昭和43年の設立から式典までの歩みを記念誌にまとめ、今年度上期に発刊いたします。昭和、平成の活動の歴史に学び、新しい令和の時代も皆様との結束力を高めながら、東三河のこの地域が、住みたい、訪れたい、学びたい、働きたいと思う「生活の都」となるよう努力いたします所存です。

#### 2. 事業計画

##### (1) 重点戦略事業

- ①東三河の産学官交流・広域連携のサポート、三遠南信地域連携ビジョンの推進

東三河産学官交流サロン、東三河午さん交流会等の事業を通じて、交流の場の提供と地域連携の推進を図る。

②東三河広域経済連合会、東三河広域連合との連携

東三河地域研究センターと共同でシンクタンク機能を活用して、政策提言、ビジョン策定支援などで緊密な連携を図る。

**(2) 広域連携事業**

①国際自動車コンプレックス研究会

三河港振興会・自動車港湾委員会と連携をとりながら研究活動を継続。三河港の持続的な発展のための官民連携の複合的視点と、中長期的な計画視点を取り入れた複合的見地から、次の時代に向けた港づくり、地域の産業経済の発展に貢献する研究交流会、シンポジウム、視察会等の開催。

②三遠南信サミット

本年度は飯田市で行われる予定の三遠南信サミットへの参加。県境を越えた三遠南信地域の連携・交流事業に協力。

③三河港振興会、豊かな海“三河湾”環境再生推進協議会、伊勢湾再生海域検討会

当地の最重要インフラ三河港の発展と三河湾の環境保全等に資するため、関係諸団体との連携強化を図る。

**(3) 産学官民交流事業**

①東三河産学官交流サロン（12回／年）

産学官民の交流連携、情報交換の場を提供。東三河の産学官の講師からタイムリーな情報を発信する。

②東三河午さん交流会（10回／年）

地域に密着したさまざまな話題をピックアップ。主に、東三河においての文化的、芸術的活動を实践・貢献されている方々を紹介する。

③東三河8市町村長を囲む新春懇談会

新春恒例の事業。東三河の全市町村長参加のパネルディスカッションにより、東三河のこれからの姿を展望する。

④視察会

年2回の開催を予定。

**(4) 会員サービス事業**

①三河港関連事業整備計画・東三河地区幹線道路整備計画の説明会

ともに三河港振興会と共催で開催。本年度は、6月11日に港説明会、また7月1日に道路説明会の開催が決定している。

②東三河地域問題セミナー

東三河の今と将来を考え、地域をリードする人材育成のための基礎的、専門的な学習の場として東三河地域研究センターが主催する。会員内外に広く周知し、動員を図る。

③広報

会報誌MIKAWA—NAVI（季刊）の発行。新春特別版の発行。

ホームページによる広報。URL：<http://www.konwakai.jp>

④設立50周年記念誌の発刊

平成30年10月に設立50周年式典を開催。そして、令和元年度定時総会の開催に合わせて、設立50周年記念誌を発刊する。

**(5) 会員増強**

東三河の産学官交流の場としてのコミュニケーションセンター機能を充実させて、会員相互の交流による地域連携の有益性を訴求する。

令和元年度  
収支予算(案)  
(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

《 収入の部 》

(単位：円)

科 目	令和元年度	平成30年度	平成30年度	前年	備 考
	予算額	決算額	予算額	予算比	
<b>1. 会費収入</b>	24,702,000	24,462,000	24,222,000	102.0%	
1) 法人会費	22,080,000	21,960,000	21,720,000	101.7%	184口
2) 個人会費	360,000	240,000	240,000	150.0%	3口
3) 特別会費	2,262,000	2,262,000	2,262,000	100.0%	29口
<b>2. 事業収入</b>	6,430,000	6,035,565	6,620,000	97.1%	
1) 産学官交流サロン	4,120,000	3,831,031	4,280,000	96.3%	
2) 午さん交流会	1,360,000	1,244,534	1,340,000	101.5%	
3) 新春懇談会	950,000	960,000	900,000	105.6%	
4) その他の事業	0	0	100,000	0.0%	
<b>3. その他の収入</b>	1,900,500	1,880,519	1,901,000	100.0%	
1) 特定預金取崩収入	0	0	0	0.0%	
① 減価償却引当特定預金	0	0	0	0.0%	
2) 雑収入	1,900,500	1,880,519	1,901,000	100.0%	
① 受取利息	500	519	1,000	50.0%	
② 雑収入	1,900,000	1,880,000	1,900,000	100.0%	
<b>当期収入合計</b>	33,032,500	32,378,084	32,743,000	100.9%	(A)
<b>前期繰越収支差額</b>	1,919,024	1,873,714	1,873,714	102.4%	
<b>収入合計</b>	34,951,524	34,251,798	34,616,714	101.0%	(B)

《 支 出 の 部 》

(単位：円)

科 目	令和元年度	平成30年度	平成30年度	前年	備 考
	予算額	決算額	予算額	予算比	
<b>1. 運営事業費</b>	2,117,000	2,079,213	2,000,000	105.9%	
1) 総会・理事会費	750,000	833,195	750,000	100.0%	
2) 広報費	1,167,000	1,141,589	1,150,000	101.5%	
3) 講演・説明会費	200,000	104,429	100,000	200.0%	
<b>2. 事業費</b>	6,285,000	6,134,709	6,380,000	98.5%	
1) 産学官交流サロン	4,020,000	3,919,248	4,080,000	98.5%	
2) 午さん交流会	1,315,000	1,233,692	1,300,000	101.2%	
3) 新春懇談会	950,000	981,769	900,000	105.6%	
4) その他の事業	0	0	100,000	0.0%	
<b>3. 調査・研究費</b>	11,744,000	11,621,579	11,554,000	101.6%	
1) 調査・研究費	8,234,000	8,154,000	8,074,000	102.0%	研究センター分(会費の1/3)
2) 研究・活動費	3,510,000	3,467,579	3,480,000	100.9%	
<b>4. 管理費</b>	12,803,000	12,341,008	12,626,000	101.4%	
1) 給料手当	5,880,000	5,719,165	5,710,000	103.0%	
2) 福利厚生費	1,170,000	1,092,471	1,145,000	102.2%	
① 福利厚生費	230,000	169,249	230,000	100.0%	
② 法定福利費	940,000	923,222	915,000	102.7%	
3) 会議費	10,000	6,480	20,000	50.0%	
4) 旅費交通費	204,000	133,120	216,000	94.4%	
5) 通信運搬費	572,000	579,724	566,000	101.1%	
6) 消耗品費	912,000	871,747	900,000	101.3%	
① 消耗什器備品費	0	0	0	0.0%	
② 消耗品費	912,000	871,747	900,000	101.3%	
7) 修繕費	0	0	0	0.0%	
8) 印刷製本費	150,000	114,858	150,000	100.0%	
9) 新聞・図書費	198,500	241,013	241,000	82.4%	
10) 水道光熱費	301,500	277,544	300,000	100.5%	
11) 賃借料	2,931,000	2,903,040	2,904,000	100.9%	
12) 交際費	60,000	11,576	60,000	100.0%	
13) 諸会費	354,000	354,000	354,000	100.0%	
14) 雑費	60,000	36,270	60,000	100.0%	
<b>5. その他の支出</b>	56,265	156,265	156,265	36.0%	
1) 固定資産購入支出	0	0	0	0.0%	
2) 特定預金繰入支出	56,265	156,265	156,265	36.0%	
① 減価償却引当特定預金	56,265	56,265	56,265	100.0%	
② 事務所移転費用積立預金	0	100,000	100,000	0.0%	
<b>当期支出合計</b>	33,005,265	32,332,774	32,716,265	100.9%	(C)
<b>当期収支差額</b>	27,235	45,310	26,735		(A) - (C)
<b>次期繰越収支差額</b>	1,946,259	1,919,024	1,900,449		(B) - (C)



<参 考>

## 国際自動車コンプレックス研究会 第21期収支予算

(自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)

収入の部 (単位:円)

科目	第21期予算	第20期予算	第20期決算	備考
会費収入	1,320,000	1,320,000	1,320,000	
研究交流会収入	0	0	0	
事業収入	100,000	100,000	0	
雑収入	63	72	5	
当期収入合計	1,420,063	1,420,072	1,320,005	
前期繰越収支差額	58,237	162,028	162,028	
収入合計	1,478,300	1,582,100	1,482,033	

支出の部 (単位:円)

科目	第21期予算	第20期予算	第20期決算	備考
総会費	150,000	150,000	43,954	
研究交流会費	300,000	250,000	232,301	
事業費	480,000	350,000	347,541	
運営費	500,000	800,000	800,000	
予備費	48,300	32,100	0	
当期支出合計	1,478,300	1,582,100	1,423,796	
次期繰越収支差額	0	0	58,237	

議案3. 役員改選の件

役職	前任	新任
常任理事	新東工業(株)特別顧問 川合 悦藏	新東工業(株)常務取締役 久野 恒靖
同	トピー工業(株)執行役員スチール事業 部長兼豊橋製造所長 中村 毅	トピー工業(株)豊橋製造所長 竹内 征規
同	西日本電信電話(株)名古屋支店ビジネス 営業本部東三河営業支店長 鈴木 由和	西日本電信電話(株)東海事業本部ビジネス 営業部東三河営業支店長 北村 光春
同	三菱ケミカル(株)執行役員 豊橋事業所長 宮森 隆雄	三菱ケミカル(株)理事役 愛知事業所長 八木 貞輝
理事	岡崎信用金庫 理事長 大河原 誠	岡崎信用金庫 理事長 田中 秀明
同	(株)静岡銀行 理事豊橋支店長 木野 章博	(株)静岡銀行 豊橋支店長 飯田 昌弘
同	総合埠頭(株) 代表取締役社長 山口 皓三	総合埠頭(株) 代表取締役社長 廣濱 全洋
同	(株)三井住友銀行 豊橋支店長 松田 秀峰	(株)三井住友銀行 豊橋支店長 永楽 克豪
同	三井住友信託銀行(株) 豊橋支店長 田中 繁行	三井住友信託銀行(株) 豊橋支店長 伊藤 寛
監事	(株)三菱UFJ銀行 豊橋支社長 中谷 安伸	(株)三菱UFJ銀行 豊橋支店長 魚谷 哲
同	中部電力(株)豊橋営業所長 近藤 仁	中部電力(株)豊橋営業所長 牧 眞司

## 令和元年度 東三河懇話会役員名簿（案）

会 長	豊橋信用金庫 会長	吉川一弘
副会長	(株)サーラコーポレーション 代表取締役社長	神野吾郎
同	(株)トヨタック 代表取締役社長	小野喜明
同	小池商事(株) 代表取締役社長	小池高弘
同	本多プラス(株) 会長	本多克弘
同	中部ガス(株) 取締役相談役	中村捷二
専任理事		伊藤恵祐
常任理事	(株)アイセロ 代表取締役社長	牧野 涉
同	(株)オノコム 代表取締役会長	小野喬四朗
同	蒲郡信用金庫 理事長	竹田知史
同	(株)サイエンス・クリエイト 代表取締役専務	原田公孝
同	新東工業(株) <b>常務取締役</b>	<b>久野恒靖</b>
同	鈴与(株) 豊橋支店長	秋山博則
同	(株)総合開発機構 代表取締役社長	小林宏之
同	総合ポートサービス(株) 代表取締役社長	柴田忠男
同	(株)大三コーポレーション 代表取締役社長	松井英治郎
同	(株)田村組 代表取締役社長	田村太一
同	中部電力(株) 執行役員 岡崎支店長	岡本祥一
同	(株)デンソー 豊橋製作所長	古海盛昭
同	トピー工業(株) 豊橋製造所長	<b>竹内征規</b>
同	豊川信用金庫 理事長	半田富男
同	トヨタ自動車(株) 常務理事田原工場長	伊村隆博
同	豊橋鉄道(株) 代表取締役社長	伊藤正雄
同	豊橋三菱ふそう自動車販売(株) 代表取締役社長	鈴木伊能勢
同	名古屋鉄道(株) 常務取締役不動産事業本部長	高崎裕樹
同	西島(株) 代表取締役社長	西島 豊
同	西日本電信電話(株) <b>東海事業本部ビジネス営業部</b> 東三河営業支店長	<b>北村光春</b>
同	日東電工(株) 豊橋事業所長	中野正則
同	フォルクスワーゲングループジャパン(株) 監査役	菊地啓一
同	(株)ほの国百貨店 代表取締役社長	林 恭吾
同	三菱ケミカル(株) <b>理事役愛知事業所長</b>	<b>八木貞輝</b>
同	ヤマサちくわ(株) 代表取締役社長	佐藤元英
理 事	アオキトランス(株) 取締役社長	遠藤 修
同	岡崎信用金庫 理事長	<b>田中秀明</b>

同	鹿島建設(株) 執行役員 中部支店長	片山 豊
同	(株)サーラホテル&レストランズ 代表取締役社長	宮川直樹
同	川北電気工業(株) 取締役社長	大津正己
同	(株)静岡銀行 豊橋支店長	<b>飯田昌弘</b>
同	(株)清水銀行 代表取締役頭取	豊島勝一郎
同	鈴与(株) 取締役会長	鈴木與平
同	(株)総合開発機構 専務取締役	今泉 悟
同	総合埠頭(株) 代表取締役社長	<b>廣瀨全洋</b>
同	大成建設(株) 専務執行役員名古屋支店長	近藤昭二
同	(株)田中屋 代表取締役	田中正治郎
同	(株)中日新聞社 代表取締役会長	白井文吾
同	(株)中部 <b>取締役会長</b>	石原 裕
同	中部電力(株) 顧問	川口文夫
同	東海CS(株) 代表取締役社長	富田茂充
同	(株)トーエネック 岡崎支店営業部 部長	伊藤芳幸
同	トピー海運(株) 代表取締役社長	竹田秀和
同	(株)名古屋銀行 取締役頭取	藤原一朗
同	名古屋鉄道(株) 代表取締役社長	安藤隆司
同	日本通運(株) 豊橋支店長	守田英司
同	(株)三井住友銀行 豊橋支店長	<b>永楽克豪</b>
同	三井住友信託銀行(株) 豊橋支店長	<b>伊藤 寛</b>
同	ユタカコーポレーション(株) <b>取締役会長</b>	磯村博宣
監 事	豊橋信用金庫 専務理事	市川智嗣
同	(株)三菱UFJ銀行 <b>豊橋支店長</b>	<b>魚谷 哲</b>
同	中部電力(株) 豊橋営業所長	<b>牧 眞司</b>

(敬称略)

<メモ欄>

## 東 三 河 懇 話 会

〒440-0888 豊橋市駅前大通3-53 太陽生命豊橋ビル2階

TEL (0532)55-5141 FAX (0532)56-0981

E-mail [info@konwakai.jp](mailto:info@konwakai.jp)

URL <http://www.konwakai.jp>